

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：防災費 目：防災総務費

事業名 岐阜県防災情報通信システム整備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

危機管理部 防災課 防災情報管理係 電話番号：058-272-1111 (内 2418)

E-mail：c11115@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 7,946 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

| 区 分 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
|-----|-------|------------|------------|------------|------------|-----|-----|-------|------------|
| | | 国 庫 支出金 | 分担金 負担金 | 使用料 手数料 | 財 産 収 入 | 寄附金 | その他 | 県 債 | 一 般 財 源 |
| 前年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 要求額 | 7,946 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7,900 | 46 |
| 決定額 | | | | | | | | | |

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

岐阜県防災情報通信システムの移動系通信(無線通信)は、防災交流センターにある統制局と県内に15か所の中継所及び総合庁舎等を結ぶ通信網である。

白川中継所には、半固定型・携帯型・車載型無線機及び防災ヘリ無線を使用するために必要な無線基地局等が設置されている。

令和3年1月に大雪により白川中継所が損壊し、現在、移動系通信が不通となっているため、早急な復旧対応が必要である。

(2) 事業内容

白川中継所の復旧整備に係る以下の事業を実施する。

- ・ 詳細設計業務委託

: システム用無線通信設備の整備や中継所局舎の建築のための
詳細設計

(3) 県負担・補助率の考え方

県 10/10 (県の設備であるため)

(4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算内訳

| 事業内容 | 金額 | 事業内容の詳細 |
|------|-------|-------------------|
| 委託料 | 7,946 | 白川中継所整備工事詳細設計委託業務 |
| 合計 | 7,946 | |

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県地域防災計画 一般対策計画 第2章 災害予防 第1節 総則
4 通信施設・設備等

「県、市町村等は、防災に関する情報の収集、伝達等の迅速化を図るため、集落、市町村、県、防災関係機関相互間における情報連絡網の整備を図るとともに、有線通信が途絶した場合でも通信を確保するため、無線通信施設等を整備し、その機能の充実と交信範囲の充実及び信頼性の向上に努めるとともに、万一これら施設に被害が発生した場合に備え、非常電源、予備機等の設置に努め通信連絡機能の維持を図るものとする。」

(2) 後年度の財政負担

令和3年度から令和4年度にかけて、詳細設計に基づく整備工事を実施。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

白川村内における移動系回線の利用について、令和4年12月までに白川中継所を整備し、これまでどおり白川村において、地上系、衛星系、移動系の3層による通信回線網で運用する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

| 指標名 | 事業開始前 | 指標の推移 | | 現在値 (前々年度末時点) | 目標 | 達成率 |
|-----------|------------|-------------|--------------|------------------|--------------|------|
| | | 40% | 100% | | | |
| 白川中継所施工管理 | 0% (R2) | 40% (R3) | 100% (R4) | 100% (R元) | 100% (R4) | 100% |

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

| | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い | |
| (評価) ○ | 大規模災害等の非常時に唯一の通信手段となりうる重要なシステムであり、早急に整備する必要がある。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない | |
| (評価) | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある | |
| (評価) | |

(今後の課題)

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 無線機器の製作に1年必要である。 また、雪のため、冬季間（12月～5月）の作業が困難である。 |
|--|

(次年度の方向性)

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 令和4年度までに設計に基づいた岐阜県防災情報通信システム白川中継所の整備を実施する。 |
|---|

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

| | |
|------------------------|-------|
| 組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課 | |
| 組み合わせる理由や期待する効果 など | 【○○課】 |